

<スクールアルバム>

★祝福の入学・進級式★今年度もよろしくお願いします！



★フェスティバルでは皆で作ったヘッドバンド、缶バッチをプレゼント



スーパーボールすくいも担当しました

★全校遠足（よこはま動物園ズーラシア）★小学生からHOPE生まで皆で楽しかったね。優実先生のお友達に撮ってもらいました！



★スクールイスターあちこち探して卵をゲット！

小学部はエッグペイントで好きな柄を描きました



お願い・ご報告

- 新年度4月の行事は守られ、祝福されました。皆さまのお祈り、ご協力に感謝いたします。
- 英会話を担当する予定だった VA 先生は都合によりできなくなりました。SH 先生が担当します。
- また、ひまわり（ウクライナ避難民）クラスの授業（クッキング）講師として、KS 先生が担当します。
- 自転車通学者を対象に自転車安全指導・点検を実施いたしました。自転車走行の際は、くれぐれも事故のないよう、安全運転をしてください。
- 防災費用として、年額500円を副教材費から徴収させていただきます。ヘルメット、防災備蓄品（乾パン・水等）等の購入のためです。（2022年度分を2023年5月の副教材費精算時に請求させていただきます。）ご協力をお願いいたします。
- トルコ・シリア地震寄附金 37,248 円をハンガーゼロを通してお渡しすることができました。ご協力に感謝します。

今月のみことば（暗唱聖句）

「イエスは言われた。『人にはできないことが、神にはできるのです。』」ルカ 18 : 27

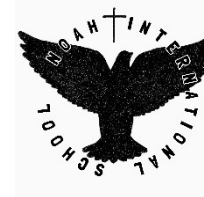
But Jesus said, "The things which are impossible with men are possible with God."

Luke 18:27

英語でも覚えましょう。是非ご家庭でもお子さまを励ましてあげてください。

祈祷課題

1. 神様の豊かな恵みがすべての家族に注がれますように。
2. スタッフ一人ひとりが主からの知恵と愛をいただき喜びをもって指導にあたることのできるように。
3. 神が導かれる新しいところに信仰をもって進み、神の御心がなっていくように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 5月号

2023.May. 1

VOI.191

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「愛のギフト」

中学部担任 石川優実

4月14日（金）に、よこはま動物園ズーラシアにてスクールの新入生歓迎遠足が行われました。小学1年生からHOPE生までが縦割り班を組み、グループメンバーそれぞれが見たい動物を出し合い、みんなでルートを決めて行動しました。下は6歳から上は18歳まで、身体の大きさも歩くペースも異なる子どもたちが一緒に行動するのは簡単なことではありませんが、相手のことを想像して思いやる力が身についたのではないかと思います。

今回の遠足には、写真係として私の十年来の友人が同行してくれました。彼女はプロのカメラマンを目指しており、とくに動くものを撮影することが好きだそうです。今回の遠足でも、活発に動き回る子どもたちの生き生きとした表情を撮ってくれました。

「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。（イザヤ書 43 章 4 節）」のみことばの通り、スクールは神様の愛に基づいた教育を大切にしています。スクールの子どもたちと接する中で、彼女もスクールに流れる愛に気づいたのか、遠足が終わったあと「スクールの人たちは、神様の愛を一人でも多くの相手に広げようとしているんだね」と言ってくれました。クリスチャンではない彼女に、スクールを通して神様の愛が伝わったことがとても嬉しく、胸が熱くなりました。

以前、スクールのとある先生が「神様の愛はLINEギフトに似ている」と言っていたことがあります。LINEギフトは、相手に直接会えなくてもLINEの連絡先さえ知っていればプレゼントを贈ることができるので、とても便利なサービスです。しかし、お金を払って誰かにLINEギフトを送っても、相手がそれを受け取る手続きをしない限り、相手にプレゼントが届くことはありません。それと同じように、神様は大事なひとり子であるイエス様を十字架につけてまで、私たち人間に愛を届けてくださいました。しかし、人間がその愛を受け取ろうとしない限り、神様の愛に気づかないまま一生を過ごしてしまうのです。

LINEギフトは一度受け取ればおしまいです。神様の愛は永遠に変わらず注がれ続けます。その上、LINEギフトは有効期限を過ぎると二度と受け取れませんが、神様の愛は気づきさえすればいつでも受け取れるのです！ これを受け取らない手はありません。

「承認欲求」という言葉があるように、現代社会には「誰かに愛されたい、認められたい」と渴望する人が多くいます。しかし人間の愛は条件付きです。「見た目が整っているから」愛する、「才能があるから」愛する、「自分によくしてくれるから」愛する……そのような「愛」を追い求めても、自分の足りないところが見えてくるばかりで、決して満たされることはありません。真に人間の心を満たせるのは、神様の無条件の愛しかないのです。

スクールを通して、一人でも多くの人に神様の愛が届きますように。そして既に神様の愛を受け取っている子どもたちが、一人でも多くの人に神様の愛を伝えられますように。

神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです。 ヨハネの手紙第一 4章9～11節

5月のカレンダー

日	月	火	水
	1日 特別休校	2日 学部別交流行事	3日 憲法記念日
7日 Sさん誕生日	8日	9日 O先生誕生日	10日 合同礼拝(1限) Eさん誕生日
14日 Tさん誕生日	15日	16日	17日 小学部・中高 HOPE 礼拝(1限) 理科特別授業(2限、4限) ※3限に4限の授業を実施 小学部授業参観(6限) 小学部保護者懇談会(7限)
21日	22日	23日	24日 小学部・中高 HOPE 礼拝(1限) A先生誕生日
28日 Oさん誕生日	29日	30日	31日 合同礼拝(1限)

- ・1日(月)は、特別休校です。(4月の土曜日行事(奉仕)が重なったので、特別に休校にします。)
- ・2日(火)は、学部別新入生歓迎行事です。スケジュールや内容等、詳細については、各学部より連絡しますので確認をお願いします。
- ・17日(水)、奉仕総合の時間(2限と4限)に2つのグループ(小学部と中高 HOPE)に分けて理科特別授業(チョウの幼虫などの観察)を行います。なお、3限に4限の授業を行います。
- ・17日(水)、小学部授業参観(6限 14時05分~14時45分)、保護者懇談会(7限 14時55分~15時35分)を行います。小学部の保護者の皆さまはご参加ください。
- ・25日(木)、尿検査①、6月14日(水)、尿検査②を実施します。朝9時までに忘れずに提出してください。(できるだけ25日(木)に提出するようにしましょう。)
- ・27日(土)10時~13時、保護者会を行います。野外(スクール裏山:雨天時はクリスタルチャペル)でラップサンドを作り、親睦を深めます。会費はお一人1000円です。詳細は後日お知らせします。皆さんお集まりください。なお、今年度の保護者会は、今回を含め、7月22日(土)、10月21日(土)、1月または2月土曜日の4回を予定しています。都合をつけてご参加くださるよう、ご協力をお願いします。
- ・5月連休明け、発育測定(身長・体重測定、視力検査)を行います。
- ・5月中に避難訓練を行います。
- ・保護者・スタッフ向けバイブルタイムを行っています。子ども達が日々恵みをいただいている聖書の言葉をご一緒に読んでいきましょう。初めての方も大歓迎です。11日(木)、18(木)、25(木)の13時15分~場所はエスペランサの小屋で行います。鈴木までお問い合わせください。

木	金	土
4日 みどりの日	5日 こどもの日	6日 O先生誕生日
11日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	12日 委員会活動(6限)	13日
18日 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	19日 クラブ活動(6限)	20日
25日 検尿① 保護者、スタッフ向けバイブルタイム	26日 クラブ活動(6限)	27日 保護者会(10時~13時 スクール裏山)



子育てnote

先日私たち夫婦は、あるウクライナ人の誕生日会を、何人かの彼女の友達と共に我が家でお祝いしました。翌日、彼女が家に帰る前に、郵便局でお金を下す必要があるとのことで、妻は団地にある郵便局に共に歩いて行きました。ATMの順番を待っている間に、彼女は人々がやってきて切手を買って手紙に貼って投函している様子を観察していました。そして彼女は妻に尋ねました。「あなたは、ああいう風に手で書いた手紙を受け取ったことがあるの?」妻は「もちろん」と答えました。「いいな、私はまだ1度もない。」それで妻は考えました。「今度、機会があったら手紙を書き切手を貼って、彼女に送ってあげよう。」と。その話を聞いて私は考えました。そうか、彼女が小学校に行きはじめてのは2010年代、その頃から、既にスマホが当たり前になりつつあって、すべて手紙的なやりとりはスマホでやってきたんだ!

我が家の子供たちの修学旅行の思い出集に目を通すと、一人ひとりの書く文字、その文字の集合体である、文章全体が個性を放っています。一人ひとりの書く文に個性があるのと同様に、私たち一人ひとりも、その存在感からして、在り様からして、立ち居振る舞いからして、すべて異なります。それゆえに、ワンパターンに躰し、教えていけば、子どもは、成長していくものではありません。私たちは一人ひとりの持つ個性を大切にすべきです。「若者をその行く道にふさわしく教育せよ。」と、箴言22章6節にあります。その「行く道」とは、ヘブル語では「その生まれつきの特質」という意味だそうです。神様は一人ひとりに個性を与え、また克服すべき課題も与えて、一人ひとりが異なる、特別な使命を持った大人として成長していくように創造されました。私たちは、一人ひとりの個性に目を留めながら、その特性にふさわしく、丁寧に彼らに対応してゆくべきでしょう。

昨日、妻は、そのウクライナ人女性に手紙を書いていました。

校長 月井博

